ボーリング柱状図

参考資料－2

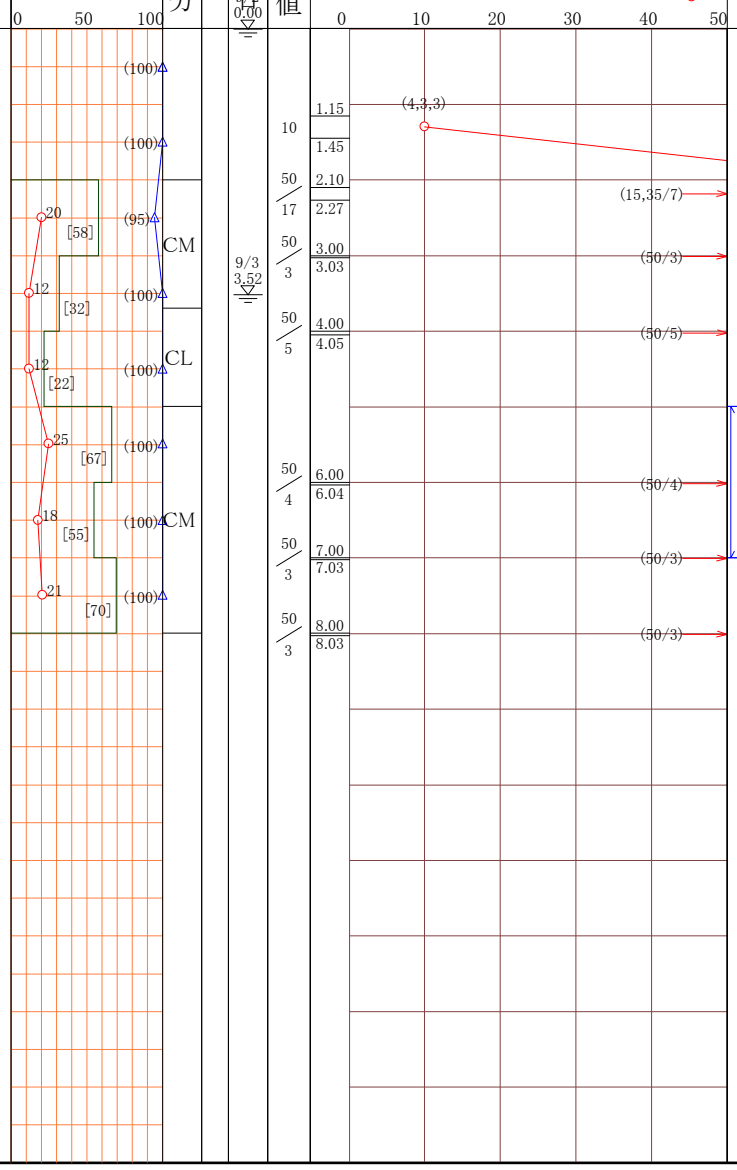
調　査　名　最終処分場地質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo　　シートNo

ボーリング名	ＮＯ．４	調査位置	須坂市大字亀倉栗毛・左方他			北緯	36° 36’ 11.7″
発注機関	長野広域連合			調査期間	平成 25年 8月 30日 ～ 25年 9月 3日	東経	138° 20’ 39″
調査業者名	日本綜合建設株式会社 電話（０２６－２２６－０３８１）	主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	633.34m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機	ＹＳＯ－１		
総掘進長	8.00m								エンジン	ＮＦＡＤ－１０	ポンプ	Ｖ－６

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	ルジオン標準貫入試験 (N)値	原位置試験	室内試験	掘進状況 掘進月日	掘進速度(cm/時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l/分)	排水量(l/分)
1				玉石混じり砂礫	褐						L=8～9cmの玉石を含んだ礫質土。 玉石は石英閃緑岩および花崗斑岩で硬質緻密。 基質はシルト分を含んだ砂礫で、含水小、粘性小。														
2	631.34	2.00		風化石英閃緑岩	褐灰	C	III	c	γ	3	概ね棒状コアで採取。 斜め方向の開口亀裂発達し、亀裂沿いに酸化汚染が進む。	CM	9/3 3.52	10			8/31		86／ケーシング	W／DB	0.5	200	0.2	清水／2	2
3	629.64	3.70												50／17											
4	628.34	5.00			灰褐		IV		δ		概ね岩片状コアで採取。 斜め方向の開口亀裂発達し、亀裂沿いに参加汚染が進む。 コアの岩質脆く、ハンマーで容易に砕ける。	CL		50／3							1	280	3	清水／3	3
5														50／5											
6				弱風化石英閃緑岩	褐灰	C	III	b	γ	2	概ね棒状コアで採取。 斜め方向の密着亀裂が発達し、亀裂面には粘性土を薄く挟む。	CM		50／4	簡易揚水試験		9/2								
7														50／3							1	280	0.2	清水／3	3
8	625.34	8.00												50／3			9/3								



ボーリング柱状図

調　査　名　最終処分場地質調査業務委託

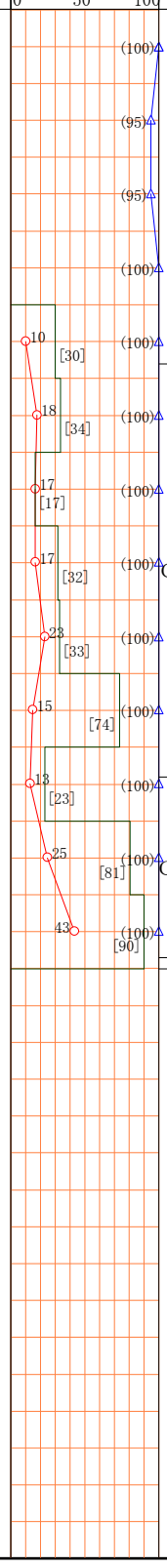
ボーリングNo

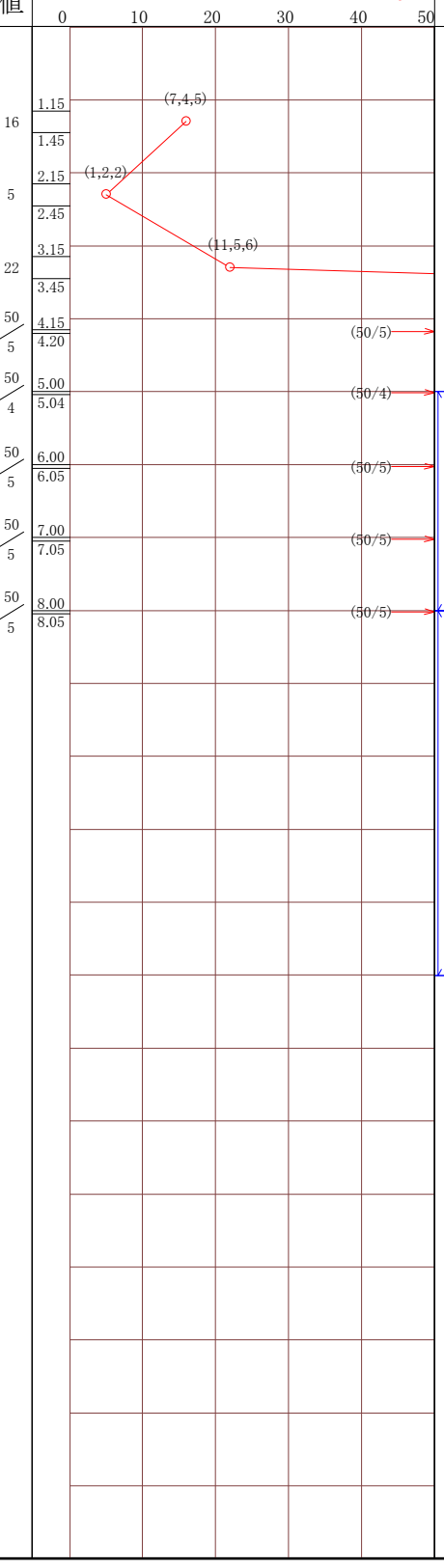
事業・工事名

シートNo

ボーリング名	NO．5	調査位置	須坂市大字亀倉栗毛・左方他			北緯	36° 36’ 10.2″
発注機関	長野広域連合			調査期間	平成 25年 8月 20日 ～ 25年 9月 23日	東経	138° 20’ 38.3″
調査業者名	日本綜合建設株式会社 電話（026－226－0381）	主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	633.83m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 0°	使用機種	試錐機	YSO－1
総掘進長	13.00m								エンジン	NFAD－12	ポンプ	EAP－150

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	原位置試験	室内試験	掘進日	掘進速度(cm/時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l/分)	排水量(l/分)
	633.38	0.45		礫混じりシルト	褐						腐植物を多量に含んだ粘性土。φ=10～40cmの礫を混入。		8/27 0.30												
1				玉石混じり砂礫	褐						石英閃緑岩の玉石を含んだ礫質土。 玉石径はL=10～35cmで、岩質は硬質緻密。 玉石間を充填する基質部は、礫分を含んだシルト質砂。 基質中の礫径は5～30mm程度。基質はやや粘性を帯び、含水中程度。		8/28 1.10	16												
2														5											
3													9/3 2.95	22											
4													8/30 4.15	50/5											
	629.03	4.80																							
5				風化石英閃緑岩	灰褐	C	III	c	δ	3	風化し灰褐色を帯びた石英閃緑岩。 コアは角礫～短柱～棒状で採取。 造岩鉱物のうち、有色鉱物および長石類は変質が進む。 亀裂は低角度亀裂と高角度亀裂が目立ち、亀裂面は5mm程度開口し、粘土を挟む。 亀裂の密集部は所々土砂化。 コアの岩芯は湿り気を帯びている。		8/31 5.40	50/4												
6														50/5											
7														50/5											
8												CL		50/5											
9																									
10																									
	623.43	10.40																							
11				弱風化石英閃緑岩	灰	B	II	b	γ	2	比較的新鮮な石英閃緑岩。 コアは概ね棒状で採取。 亀裂面は開口し、亀裂沿いに造岩鉱物の変質や、粘土鉱物の生成が認められる。	CM														
12																									
	620.98	12.85																							
13	620.83	13.00			灰褐	C		c	δ	3	灰褐色を帯びた石英閃緑岩。														
14																									
15																									
16																									
17																									
18																									
19																									
20																									





簡易揚水試験

簡易揚水試験

掘進日	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l/分)	排水量(l/分)
8/26	86／ケーシング	W／DB	200	200	1	清水／0.5	0.5
8/27			100	160	0.3	清水／5	5
8/28			200	300	0.2	清水／5	5
8/29			200	200	0.2	清水／8	8
8/30			200	300	0.1	清水／8	8

ボーリング柱状図

調　査　名　最終処分場地質調査業務委託

ボーリングNo

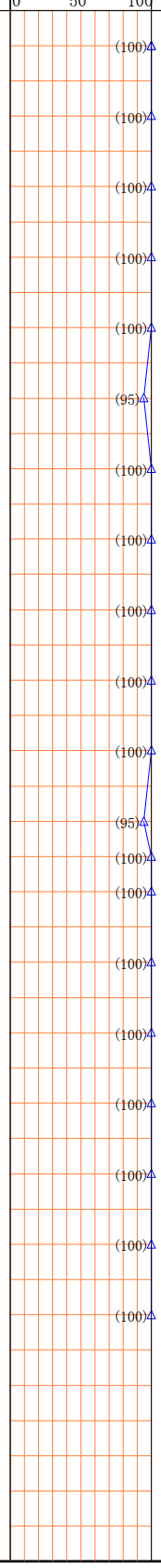
事業・工事名

シートNo

ボーリング名	ＮＯ．６	調査位置	須坂市大字亀倉栗毛・左方他			北緯	36° 36’ 12.4″
発注機関	長野広域連合			調査期間	平成 25年 9月 25日 ～ 25年 10月 5日	東経	138° 20’ 45.4″
調査業者名	日本綜合建設株式会社 電話（０２６－２２６－０３８１）	主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	667.46m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機	ＹＳＯ－１
総掘進長	20.00m								エンジン	ＮＦＡＤ－１０	ポンプ	Ｖ－６

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事
	666.66	0.80		シルト質砂	暗褐～褐						0.4mまでは土壌化。 0.4m以深、細礫を含んだ砂質土。
1～11	656.46	11.00		玉石混り砂礫	褐						10cm程度の玉石を含んだ礫質土。 礫径は0.5～15cm、礫形は亜角礫～角礫。 礫種は石英閃緑岩、花崗斑岩。 礫分含有率は50～70%程度。 礫間の基質部は締りの緩い砂質土。 砂質シルト主体で部分的にシルト質砂。 基質は指圧で容易につぶれ、粘性小、含水小。
11～15	652.46	15.00		礫混り砂質シルト	褐						玉石を含まない粘性土。 0.2～1cmの細礫を10%程度含んでいる。 礫間の充填部は砂質シルトで、ルーズである。粘性中、含水中。
15～20	647.46	20.00		玉石混り砂礫	褐						10cm程度の玉石を含んだ礫質土。 礫径は0.5～15cm、礫形は亜角礫～角礫。 礫分含有率は70%程度。 礫間の基質部は締りの緩いシルト質砂。 基質は指圧で容易につぶれ、粘性小、含水小。

コア採取率 △（%）　最大コア長 ○ cm　RQD ┐［%］

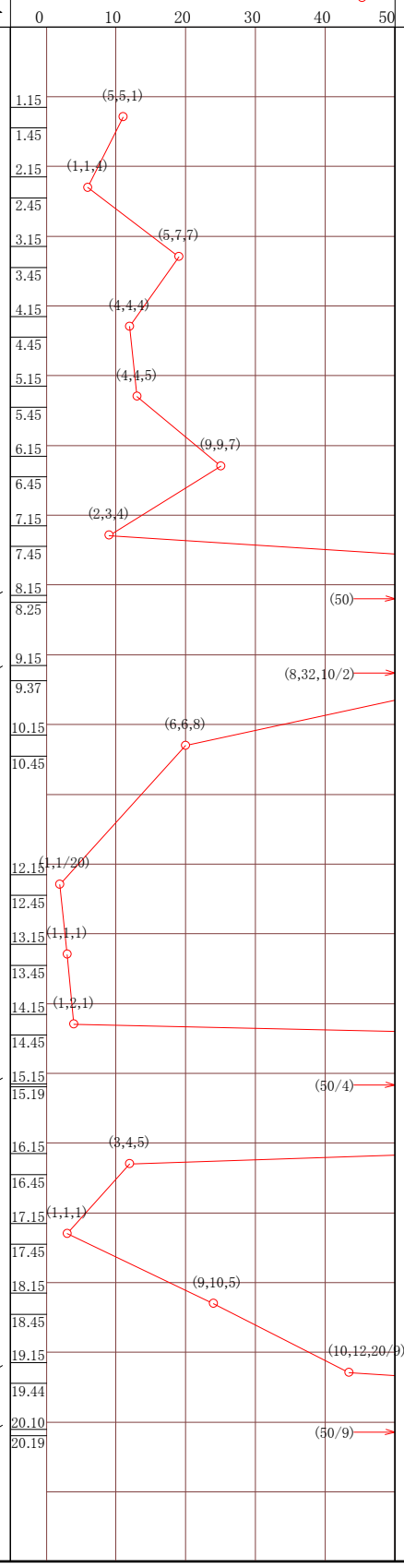


岩級区分

孔内水位(m)／測定月日：9/27 3.52　9/28 7.00

（ルジオン　標準貫入　）試験

（Ｐ～ＱＮ値～深度）図
[]：ルジオン値
()：換算ルジオン値
《》：限界圧力



（Ｎ）値：11　6　19　12　13　25　9　50/10　50/22　20　2　3　4　50/4　12　3　24　42/29　50/9

原位置試験（　）

室内試験（　）

掘進日	掘進速度(cm/時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(1/分)	排水量(1/分)
9/26		86	W/DB	0.5	280	0.14	清水／2	2
9/27				0.5	300	0.2	清水／2	2
9/28								

ボーリング柱状図

調　査　名　最終処分場地質調査業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	ＮＯ．７	調査位置	須坂市大字亀倉栗毛・左方他			北緯	36° 36’ 7.5″
発注機関	長野広域連合			調査期間	平成 25年 10月 5日 ～ 25年 10月 日	東経	138° 20’ 44.1″
調査業者名	日本綜合建設株式会社 電話（０２６－２２６－０３８１）	主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	673.22m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機：ＹＳＯ－１
総掘進長	20.00m								エンジン：ＮＦＡＤ－１２　ポンプ：ＥＡＰ－１５０

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	N値	原位置試験	室内試験	掘進状況 掘進月日	掘進速度(cm/時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l/分)	排水量(l/分)
	673.02	0.20		礫	暗灰						土取場造成時の埋土。														
1 2 3	669.22	4.00		強風化石英閃緑岩	褐	D	IV	d	δ	4	石英閃緑岩の強風化部で、マサ～礫状コアで採取。 岩質は岩芯の残存部はやや硬質、マサ状部は軟質。	D D	10/8 0.81 10/12 3.90	33 38 50/16	1.15 1.45 2.15 2.45 3.15 3.31	(9,11,13) (8,14,16) (15,35/6)			10/7								
4	668.52	4.70		弱風化石英閃緑岩	灰	C	II	c	β	2	コアストーン状に残存する中硬岩相当の石英閃緑岩。	CM												清水／7	
5 6 7 8 9	663.22	10.00		風化石英閃緑岩	褐～灰褐	D	V	c	γ	3	コア形状は角礫～変状～棒状で採取。 岩質は硬質部とマサ化部が混在する。 削孔とともに孔内水は低下する。	CL	10/10 6.05 10/11 9.75	50/17 50	6.15 6.32 8.15 8.45	(27,23/7) (15,14,21)			10/8 10/9	86／ケーシング	W／DB	0.15	240	0.2		7
10 11	661.42	11.80		弱風化石英閃緑岩	褐灰	B	III	b	β	2	コアストーン状に残存する中硬岩相当の石英閃緑岩。 亀裂は斜め方向に発達し、微量の酸化汚染を伴う。	CM	10/15 10.35					10/10								
12 13 14 15	657.62	15.60		風化石英閃緑岩	褐灰～灰褐	C	III	c	γ	3	コアは岩片～棒状で採取。 亀裂は水平～斜め方向に発達し、深度14m以深の亀裂は粘土薄層を狭在する。	CL		50/21	13.40 13.61	(23,27/11)			10/11			0.2	360	0.3	清水／7	7
16	656.42	16.80			明褐	D	VI	d	δ		明褐色を帯びる強酸化部。 コアはマサ状で、ハンマーの打撃で容易に崩れる。	D		50/20	16.15 16.35	(11,39)	簡易揚水試験		10/12							
17 18	654.72	18.50			褐灰	C	III	c	γ		概ね棒状コアで採取。 亀裂は水平～斜め方向に発達し、亀裂面に沿って酸化汚染が顕著。	CL							10/15							
19 20	653.22	20.00		弱風化石英閃緑岩	灰	B	III	b	γ	2	コアは短柱～棒状を呈する。 水平～斜め方向の亀裂発達し、亀裂沿いに顕著な酸化汚染が進む。 岩芯部では硬質緻密。	CM					簡易揚水試験		10/17							
21																									

コア採取率 △（％）　最大コア長 ○ cm　ＲＱＤ ┐［％］

（ルジオン　標準貫入　）試験
（Ｐ～ＱＮ値～深度）図
[]：ルジオン値
()：換算ルジオン値
《》：限界圧力
N値

ボーリング柱状図

調　査　名　最終処分場地質調査業務委託

事業・工事名

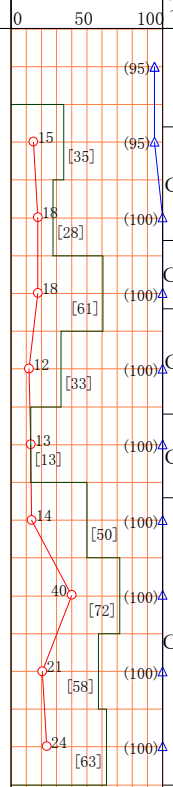
ボーリングNo											

シートNo

ボーリング名	ＮＯ．８	調査位置	須坂市大字亀倉栗毛・左方他					北緯	36° 36’ 9.4″
発注機関	長野広域連合			調査期間	平成 25年 9月 4日 ～ 25年 9月 12日			東経	138° 20’ 39.5″
調査業者名	日本綜合建設株式会社 電話（０２６－２２６－０３８１）	主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	634.20m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	
総掘進長	10.00m								

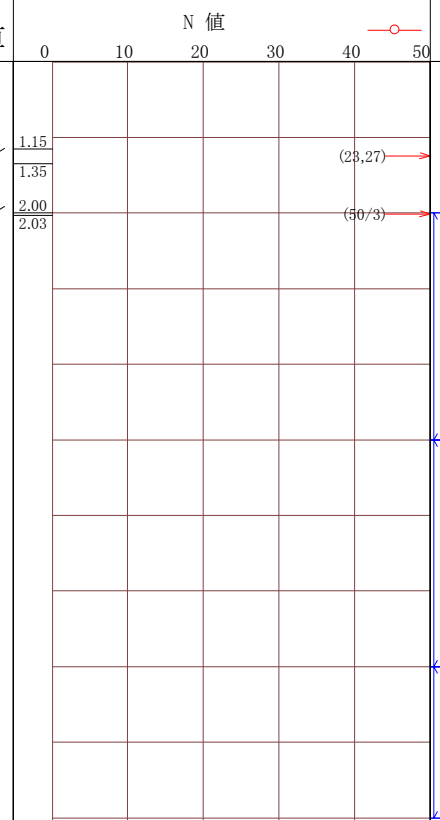
試錐機	ＹＳＯ－１		
エンジン	ＮＦＡＤ－１２	ポンプ	ＥＡＰ－１５０

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	原位置試験	室内試験	掘進日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
1	632.90	1.30		シルト質砂礫	褐						0～0.3mまでは埋戻土の砂礫と推定される。 0.3m以深は礫質土。 礫径は1～5cmで石英閃緑岩礫が卓越する。 基質はシルト質砂。		9/5 9/6 9/7 9/9 9/10	50／20	1.15 1.35										
2	631.40	2.80		風化石英閃緑岩	灰褐	C	IV	c	γ	2	石英閃緑岩の風化部で水平方向の亀裂が目立つ。 亀裂沿いは酸化汚染が進み褐色を帯びる。	CL		50／3	2.00 2.03	(23,27) (50/3)	簡易揚水試験		86／ケーシング	W／DB	0.2	200	0.1	清水／5	5
3	630.50	3.70			褐灰	B	III	b	β		中硬岩相当の石英閃緑岩で、コアストーン状に残存する硬質部。	CM						9/6							
4	629.10	5.10			灰褐	C	IV	c	γ		石英閃緑岩の風化部で水平及び縦方向の亀裂が目立つ。 亀裂沿いは酸化汚染が進み褐色を帯びる。	CL						9/7			0.3	300	0.1	清水／6	6
6	628.00	6.20			灰	B	III	b	β		平行亀裂卓越し、コアは短柱状で採取。 亀裂面の数カ所に白色粘土(カオリン)を狭在する。	CL					簡易揚水試験									
7	627.00	7.20		弱風化石英閃緑岩	灰～乳灰	B	III	b	β	2	弱風化石英閃緑岩で、水平方向の亀裂が発達する。 亀裂面の一部に白色粘土(カオリン)を狭在する。	CM									0.3	250	0.2	清水／7	7
8							II				水平及び斜め方向の亀裂が認められるが、概ね棒状コアで採取。 亀裂沿いに若干酸化汚染が進行する。							9/9							
9																	簡易揚水試験								
10	624.20	10.00																9/10							
11																									
12																									
13																									
14																									



（ルジオン　標準貫入　）試験

（Ｐ～ＱＮ値～深度）図
[] ： ルジオン値
() ： 換算ルジオン値
《》： 限界圧力



ボーリング柱状図

調　査　名　最終処分場地質調査業務委託

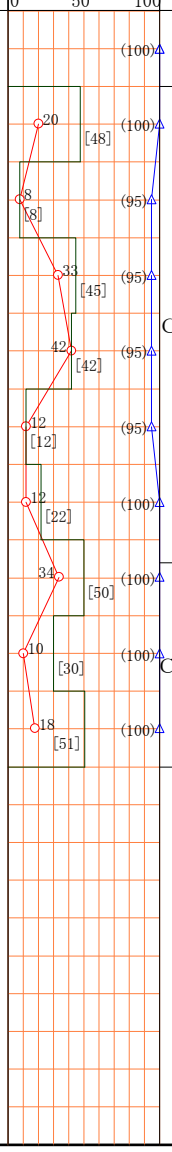
ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	NO．9	調査位置	須坂市大字亀倉栗毛・左方他			北緯	36°36’9.3″
発注機関	長野広域連合			調査期間	平成 25年 8月 29日 ～ 25年 9月 6日	東経	138°20’40.6″
調査業者名	日本綜合建設株式会社 電話（026－226－0381）	主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	634.51m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機	YBM－05
総掘進長	10.00m								エンジン	NFAD－7	ポンプ	V－6

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分
1	633.51	1.00		礫混じりシルト	褐						深度0.2mまでは転石 0.2～0.7mはルーズな粘性土で含水中位。 0.7m以深は基盤岩の土砂化部と思われる。	
2	632.51	2.00		風化石英閃緑岩	赤褐	C	III	c	δ	3	酸化汚染で赤褐色を呈する石英閃緑岩。	CL
3					褐灰				γ		開口亀裂が多数発達する石英閃緑岩。 亀裂の発達方向は、縦・斜め・平行等無秩序。 亀裂面には薄い粘土を挟んでいる。	
4												
5												
6	627.71	6.80										
7	627.21	7.30			赤褐		IV		δ		酸化汚染で赤褐色を呈する石英閃緑岩。 コアは片状で採取。	
8				弱風化石英閃緑岩	灰	B	III	b	β	2	深度8.2mまでは粗粒の石英閃緑岩。 平行亀裂が発達し、亀裂沿いの岩片は酸化汚染が進む。 深度8.2m以深は概ね細粒の石英閃緑岩。 深度8.9m付近に斜めの開口亀裂が発達し、亀裂面には厚さ5mmの白色粘土鉱物（カオリンと推定される）を挟んでいる。	CM
9												
10	624.51	10.00										
11												
12												
13												
14												



孔内水位(m)／測定月日	ルジオン標準貫入試験 N値	ルジオン値	原位置試験	室内試験	掘進状況 掘進日	掘進速度(cm/時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l/分)	排水量(l/分)
	50/8	1.10 / 1.18 (50/8)						S/MC	300	60	0	清水/2	2
					8/31		86/ケーシング		200	150			
	50/15	3.00 / 3.15 (23,27/5)											
	50/7	4.00 / 4.07 (50/7)			9/2								
	50/4	5.10 / 5.14 (50/4)						W/DB	200	150	0	清水/3	3
	50/7	7.20 / 7.27 (50/7)	JFT										
					9/3								
					9/4								

ボーリング柱状図

調　査　名　最終処分場地質調査業務委託

ボーリングNo

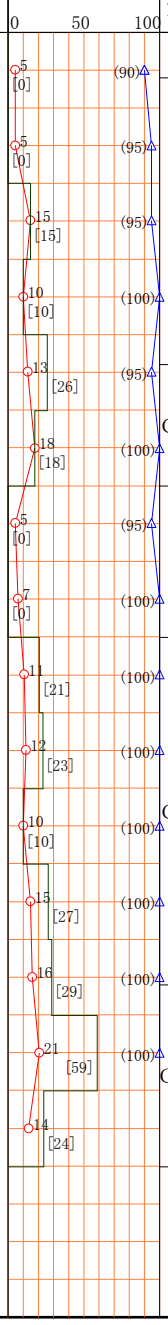
事業・工事名

シートNo

ボーリング名	NO.10	調査位置	須坂市大字亀倉栗毛・左方他			北緯	36°36'8.3"
発注機関	長野広域連合			調査期間	平成25年9月28日 ～ 25年10月5日	東経	138°20'43"
調査業者名	日本綜合建設株式会社 電話(026-226-0381)	主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	660.56m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機	YBM-05
総掘進長	15.00m								エンジン	NFAD-10	ポンプ	V-6

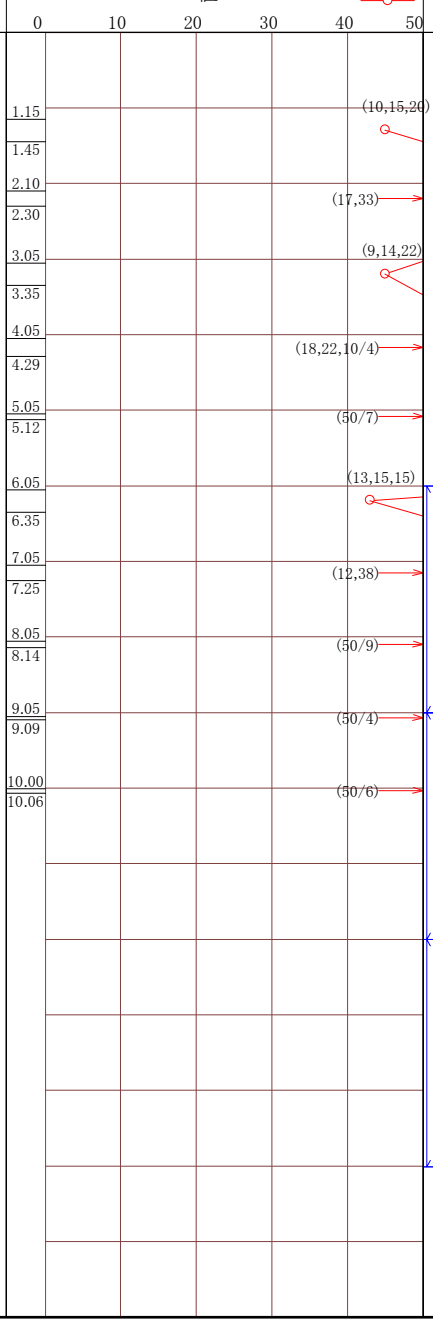
標尺(m)	標高(m)	深度(m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	掘進月日	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(1／分)	排水量(1／分)
	659.96	0.60		礫混じり砂	明褐						土取場造成時の埋土。締りは緩い。										
1 2 3 4	656.16	4.40		強風化石英閃緑岩	暗褐～灰褐	D	IV	c	δ	3	石英閃緑岩の強風化部で、マサ～角礫状コアで採取。 コアの硬さはハンマーの打撃で容易に砕ける程度。 造岩鉱物は石英を除き変質が進む。	D	10/13.44	9/30	86／セメンティング	W／DB	0	150	0	清水／3	3
5	654.56	6.00		風化石英閃緑岩	褐	C	III	c	γ	3	コアは岩片～短柱状で採取。 上下の強風化部に挟まれている風化残存部。	CL	10/25.93								
6 7	652.56	8.00		強風化石英閃緑岩	赤褐	D	IV	d	δ	3	酸化汚染が顕著な強風化石英閃緑岩。 開口亀裂が無秩序に発達し、亀裂沿いに変質が進む。	D		10/1							
8 9 10 11 12	647.96	12.60		風化石英閃緑岩	灰褐	C	III	c	γ	3	コアは片状～短柱状で採取。 岩質は硬質部とやや軟質な部分が混在し、硬質部は約3割。 水平及び斜め方向の開口亀裂が発達し、亀裂面には黄褐色粘性土を挟む。	CL		10/2							
13 14	645.56	15.00		弱風化石英閃緑岩	褐灰～灰	C	III	c	γ	2	コアは短柱～棒状で採取。 岩質は硬質部とやや軟質部が混在し、硬質部が7割を占める。 亀裂は水平及び低角度の斜め方向が多く。 亀裂沿いは酸化汚染が認められる。	CM		10/3 10/4			150	150	0	清水／3	3
15 16																					

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]



（ルジオン　標準貫入　）試験

（P～QN値～深度）図
[] : ルジオン値
() : 換算ルジオン値
《》: 限界圧力



（N）値

原位置試験（　）

室内試験（　）

簡易揚水試験

簡易揚水試験

簡易揚水試験

ボーリング柱状図

調査名	最終処分場地質調査業務委託
事業・工事名	
ボーリングNo	
シートNo	

ボーリング名	NO.11	調査位置	須坂市大字亀倉栗毛・左方他			北緯	36° 36' 10.6"
発注機関	長野広域連合			調査期間	平成 25年 9月 26日 ～ 25年 10月 3日	東経	138° 20' 42.6"
調査業者名	日本綜合建設株式会社 電話(026-226-0381)	主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	646.47m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機: YSO-1
総掘進長	15.00m								エンジン: NFAD-12　ポンプ: EAP-150

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	孔内水位(m)/測定月日	(N)値	原位置試験	室内試験	掘進日	掘進速度(cm/時)	孔径(mm)/孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l/分)	排水量(l/分)
	646.07	0.40		砂礫	褐						土取り場造成時の埋土。														
1 2 3	642.47	4.00		風化石英閃緑岩	灰褐～灰	C	III	c	γ	3	コアは岩片～短柱状で採取。 コアの硬さはハンマーの打撃で砕ける程度。 深度2.9～3.3mには灰色の硬質部が残存する。	CL	9/28 1.65	50/5	1.05/1.10 (50/5)		9/27			C	200	300	0	清水/7	7
4 5	641.22	5.25		弱風化石英閃緑岩	灰～褐灰	B	II	b	β	2	上下の風化部に挟まれたコアストーン。 コアは短柱～棒状で採取。 亀裂は低角度の斜め方向が多い。	CM							86/ケーシング		200	300	0.2	清水/7	0
6	640.47	6.00			灰		I				コアストーンの岩芯部。	CH	10/3 5.50 9/30 5.95 10/2 6.56				9/28								
7 8	637.87	8.60			灰～褐灰		II				コアは円盤～棒状で採取。 亀裂は低角度の斜め方向が多い。亀裂面に沿って酸化鉄付着。	CM				簡易揚水試験	9/30			W/DB	200	300	0.3	清水/7	7
9	636.97	9.50		強風化石英閃緑岩	赤褐	D	V	d	ε	3	コアストーン直下の強風化部で土砂化している。	D													
10 11	635.47	11.00			赤褐～褐		IV		δ		コアは玉石混り土状を呈し、マサ化部とやや硬質な部分が混在。			50/5	11.00/11.05 (50/5)	簡易揚水試験	10/1								
12 13 14 15	631.47	15.00		風化石英閃緑岩	灰～褐灰	C	IV	b	γ	2	亀裂の卓越した石英閃緑岩。 亀裂は斜め方向に無秩序に発達する。 岩質は灰色部は硬質であるが、褐灰色部は風化しておりやや脆い。	CL					10/2								
16 17 18 19																									

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

(ルジオン 標準貫入)試験
(P～QN値～深度) 図
[] : ルジオン値
() : 換算ルジオン値
《》: 限界圧力
N値

ボーリング柱状図

調　査　名　最終処分場地質調査業務委託

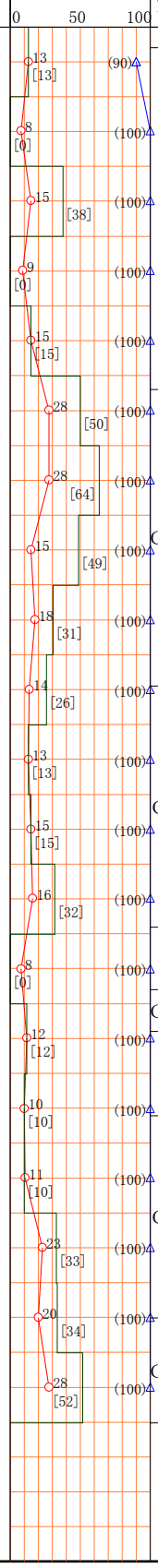
ボーリングNo

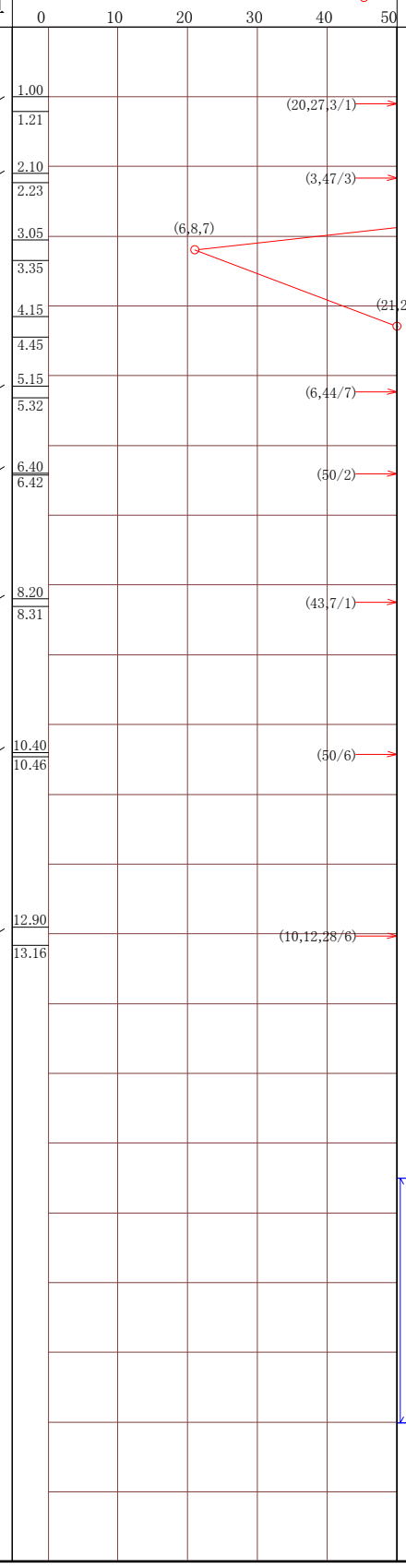
事業・工事名

シートNo

ボーリング名	NO.12	調査位置	須坂市大字亀倉栗毛・左方他			北緯	36°36'6.8"
発注機関	長野広域連合			調査期間	平成25年9月7日 ～ 25年9月26日	東経	138°20'40.4"
調査業者名	日本綜合建設株式会社 電話(026-226-0381)	主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	646.96m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 30°	使用機種	試錐機 YBM-05
総掘進長	20.00m								エンジン NFAD-10　ポンプ V-6

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	原位置試験	室内試験	掘進日	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l/分)	排水量(l/分)
	646.66	0.30		礫混じり粘性土	暗褐						植生機材吹付工により土壌化した地盤。								SMC	0.3	30	0	0	0
1				強風化石英閃緑岩	褐～明橙	D	V	c	δ	3	石英閃緑岩の強風化部で、概ね角礫状コアで採取。 岩質は岩芯部の残存箇所は硬質であるが、マサ状化部分は軟質。 深度4.6m付近は明橙色を帯び、造岩鉱物の変質が進む。	D	9/11 9/19 9/20 9/21 9/25	50/21			9/9			0.3	150	0	清水/3	3
2														50/13										
3													9/26 3.45 9/24 3.76	21			9/10							
4														50										
5	641.76	5.20											9/21 4.85 9/25 5.40	50/17										
6				弱風化石英閃緑岩	灰	B	III	b	β	2	上下の風化帯の間にコアストーン状に残存する中硬岩相当の石英閃緑岩。 コアは概ね棒状で採取され、RQDは平均50。 亀裂は斜め方向が多く開口亀裂には褐色粘土薄層を挟む。 深度8.5m付近には約10cmの珪長岩岩脈が存在する。	CM		50/2			9/11 9/17	86/ケーシング	W/DB					
7																								
8														50/11										
9	637.51	9.45																						
10				風化石英閃緑岩	灰	B	III	c	γ	3	コア形状は角礫～片状～棒状で採取。 岩質は硬質部とマサ化部が混在する。 削孔時の孔内水位は、G L-2m付近に位置する。	CL		50/6			9/18							
11																								
12	634.06	12.90															9/19			0.25	150	0	清水/3	3
13	633.16	13.80		強風化石英閃緑岩	褐灰	D	V	d	δ	3	石英閃緑岩の土砂化部で、概ねマサ状。 削孔時の孔内水位はGL-3m付近に低下。	D		50/26										
14	632.56	14.40		弱風化石英閃緑岩	灰	C	III	c	γ	2	水平方向の亀裂が発達する石英閃緑岩。	CM												
15	631.36	15.60		強風化石英閃緑岩	明褐	E	V	d	δ	3	石英閃緑岩の土砂化部で、概ねマサ状。 削孔時の孔内水位はGL-4m付近に低下。	D					9/20							
16				風化石英閃緑岩	褐灰	C	III	c	β	2	コア形状は角礫～片状～棒状で採取。 岩質は硬質部とマサ化部が混在する。 深度18.3～18.5mは赤褐色を帯び酸化汚染が顕著。	CL				JFT	9/21							
17																								
18	628.46	18.50																						
19				弱風化石英閃緑岩	灰	B	II	b	β	2	コアは棒状を呈し、水平方向亀裂が発達する。 亀裂面には部分的に白色粘土薄層を挟むが、酸化汚染は微量。	CM					9/24							
20	626.96	20.00															9/25							
21																								





ボーリング柱状図

調査名	最終処分場地質調査業務委託
事業・工事名	
ボーリングNo	
シートNo	

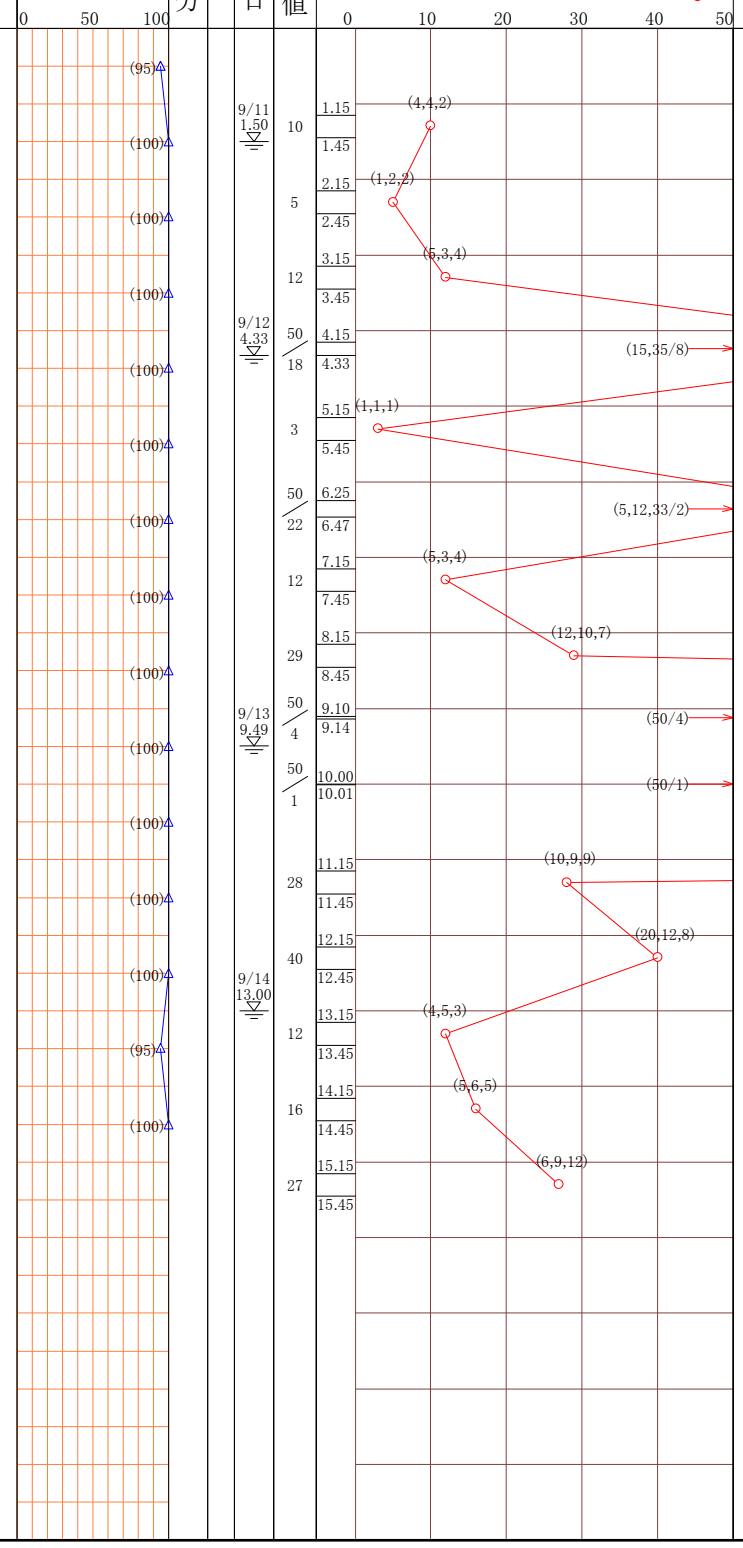
ボーリング名	NO.13	調査位置	須坂市大字亀倉栗毛・左方他			北緯	36° 36' 12.2"
発注機関	長野広域連合			調査期間	平成 25年 9月 8日 ～ 25年 9月 17日	東経	138° 20' 41.4"
調査業者名	日本綜合建設株式会社 電話(026-226-0381)	主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	653.64m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 30°	使用機種	試錐機: YSO-1
総掘進長	15.00m								エンジン: NFAD-10　ポンプ: V-6

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事
	652.84	0.80		シルト質砂礫	褐						φ=1～5cmの角礫を含んだ土砂。 基質部はシルト質砂で、やや粘性を帯びる。
1～8	645.64	8.00		玉石混り砂礫	褐						玉石を含んだ礫質土。 礫分の含有率は約50%。 礫径は1～10cm程度、礫形は亜角礫～角礫。 礫種は石英閃緑岩、花崗斑岩、珪長岩。 礫間の基質部はシルト質砂で、粘性小、含水小。
	644.64	9.00		シルト質砂礫	褐						上部層と同様の層相で玉石を含まない礫質土。
9～15	638.64	15.00		玉石混り砂礫	褐						多量の玉石を含んだ礫質土。 玉石のコア径はL=8～20cm程度。形状は角ばったものが多い。 玉石の礫種は石英閃緑岩、花崗斑岩、珪長岩。 玉石の岩質は硬質緻密でハンマーの打撃で高音を発す。 玉石を充填する基質部分は、シルト分を含んだ砂礫でやや粘性を帯びる。 基質の密集部は強度が低く、指圧で容易につぶれる硬さ。 深度14.5～15m間は、基質部が赤褐色を帯び、酸化していると推定される。 削孔完了時の孔内水位は孔底付近。

コア採取率 △ (%)　最大コア長 ○ cm　RQD ⌐ [%]

岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	(ルジオン標準貫入)試験 (N)値	原位置試験	室内試験	掘進状況 掘進月日	掘進速度(cm/時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l/分)	排水量(l/分)
	9/11 1.50	10			9/10		86／ケーシング	W/DB	0.5	220	0.2	清水／2	2
	9/12 4.33	5			9/11				1	380	0.2	清水／3	3
	9/13 9.49	18			9/12				0.5	280	0.2	清水／2	2
	9/14 13.00	29			9/13				0.5	280	0.2	清水／2	0
		27			9/14								

(P～QN値～深度)図
[]：ルジオン値
()：換算ルジオン値
《》：限界圧力



ボーリング柱状図

調　査　名　最終処分場地質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo										

シートNo

ボーリング名	ＮＯ．１４	調査位置	須坂市大字亀倉栗毛・左方他			北緯	36° 36’ 9″
発注機関	長野広域連合			調査期間	平成 25年 8月 20日 ～ 25年 8月 30日	東経	138° 20’ 37.4″
調査業者名	日本綜合建設株式会社 電話（０２６－２２６－０３８１）	主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	634.20m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	
総掘進長	23.00m								

試錐機	Ｄ－０		
エンジン	ＮＦＡＤ－１０	ポンプ	Ｖ－６

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	N値	原位置試験	室内試験	掘進日	掘進速度(cm/時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l/分)	排水量(l/分)
	633.85	0.35		礫混じり砂質シルト	暗褐						腐植物を含んだ砂質シルト。				簡易揚水		8/21		86／ケーシング	SMC	0.5	200	0.2	0	0
	633.40	0.80			黄褐						φ=5～30mmの角礫を含んだ砂質シルト。		8/28 2.13												
1				玉石混り砂礫	暗灰						石英閃緑岩の玉石を含んだ礫質土。 玉石径はL=8～10cm程度。 礫間の基質部はやや粘性を帯びた砂質土。 含水中程度。														
2	632.20	2.00																							
				シルト質砂礫	暗灰						上部、下部層と連続する礫質土層で、玉石を含んでいない。														
3	631.20	3.00																							
4				玉石混り砂礫	暗灰						石英閃緑岩の玉石を含んだ礫質土。 玉石径はL=8～15cm程度。玉石混入率は20～40%。 玉石間の基質部はシルト分を含んだ礫質土。 深部ほど細粒分が増加し、基質は粘性土に漸移していく。						8/22								
5													8/26 5.41												
6	628.00	6.20																							
7				礫混じり砂質シルト	灰褐～褐灰						深度7.15～8.4mは灰褐色を帯びた粘性土。 指圧で容易につぶれる硬さ。 深度8.4～9mは含水量に富む粘性土で非常にルーズ。		8/29 6.90				8/23								
8																									
9	625.20	9.00																							
10				礫混じり砂質シルト	赤褐						風化した石英閃緑岩礫および玉石を含んだ粘性土。 玉石および礫の岩質は脆く、ナイフで容易に削れる硬さ。 基質部は赤褐色を帯び、粘性中、含水小～中。 基質中に微小な木片を含んでいる。						8/24			W／DB	1	200	0.2	清水／2	2
11																									
12																									
13																									
14																	8/26								
15																									
16	618.40	15.80		強風化石英閃緑岩	乳白	E	VII	d	ε	4	造岩鉱物が完全に変質し、白色粘土鉱物化する。 粘土鉱物の成分の一部にモンモリロナイトを含むと推定され、膨潤性を示す。	D													
17	617.80	16.40			赤褐～灰褐	D	III		δ		石英閃緑岩の強風化部で、原岩組織を所々残すものの、大部分は土砂化。 深度17mのN値は原岩組織残存部のため50を示す。 土砂化部はシルト化し、指圧で潰れる硬さ。														
18	616.40	17.80																							
19				風化石英閃緑岩	褐灰～灰褐	C	III	c	γ	3	風化した石英閃緑岩。 コアは短柱～棒状で採取。 亀裂面は概ね開口し、亀裂沿いに造岩鉱物の変質が進む。						8/27								
20	613.80	20.40										CL													
21					赤褐	D		d	δ		上部よりも風化が進行した石英閃緑岩。 コアは軟質棒状で採取。 亀裂は密着し、酸化鉄が密集する。						8/28				0.8	280	0.2	清水／3	3
22	612.30	21.90			灰褐	C		c	γ		風化した石英閃緑岩。 コアは短柱～棒状で採取。 深度21.9～22.15m間のコアは灰色を帯び硬質であるが、その他の区間は酸化色を呈し、やや脆い。						8/29								
23	611.20	23.00																							
24																									

コア採取率 △（％）　最大コア長 ○ cm　ＲＱＤ ┐［％］

ルジオン　標準貫入　）試験

（Ｐ～ＱＮ値～深度）図
[]：ルジオン値
()：換算ルジオン値
《》：限界圧力

ボーリング柱状図

調　査　名　最終処分場地質調査業務委託

ボーリングNo

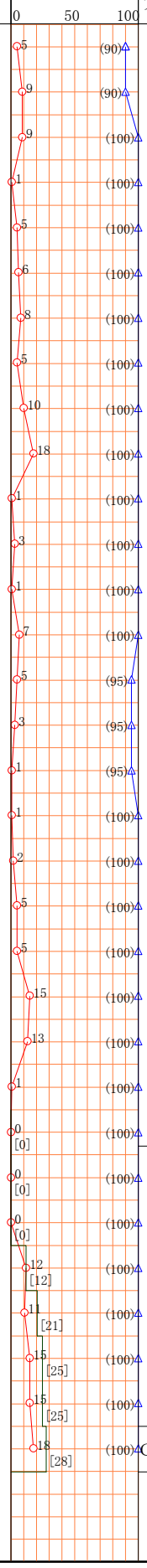
事業・工事名

シートNo

ボーリング名	ＮＯ．１５	調査位置	須坂市大字亀倉栗毛・左方他			北緯	36° 36’ 6.4″
発注機関	長野広域連合			調査期間	平成 25年 10月 7日 ～ 25年 10月 31日	東経	138° 20’ 38″
調査業者名	日本綜合建設株式会社 電話（０２６－２２６－０３８１）	主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	650.71m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機 ＹＢＭ－０５
総掘進長	32.00m								エンジン ＮＦＡＤ－１０　ポンプ Ｖ－６

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	掘進状況 掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(1／分)	排水量(1／分)
1	649.71	1.00		シルト質礫	暗褐						深度0.3mまでは耕土。 0.3～0.8mは人口的に乱された礫質土。			10/8			S/MC	0.15	150	0	清水/3	0
2	648.56	2.15		玉石混り砂礫	褐						L=8～15cmの玉石を含んだ礫質土。 基質はシルト分を含み、粘性小、含水小。		10/10 2.17									
3				礫混じりシルト質砂							礫分を15%程度含んだ砂質土。 基質はシルト質砂で粘性小、含水小～中。											
4	646.21	4.50												10/9								
5				シルト混り砂礫	褐						礫分を60～70%含む砂礫層。 礫径は1～10cmで、石英閃緑岩の亜角礫が主体をなす。 礫間の基質はシルト質砂～砂質シルト。		10/21 5.82									
6														10/10								
7																						
8														10/11								
9	641.71	9.00																				
10	640.71	10.00		玉石混り砂礫	褐						上部層と連続する礫層で、L=10～20cmの玉石を混入する。											
11				礫混じりシルト質砂	褐						上部層から続く堆積物で、礫分が15～20%に減少する。 礫径は1～5cm。基質はシルト質砂で指圧で容易につぶれる。			10/18				0.2	150	0	清水/3	3
12														10/15								
13	637.31	13.40																				
14				シルト混り砂礫	褐						礫表面の酸化汚染が目立つ礫質土。 礫径は1～8cmで石英閃緑岩の亜角礫主体。 礫間の基質はシルト混り砂。粘性小、含水中。			10/17								
15														10/18								
16	634.71	16.00																				
17				礫混じり砂質シルト	淡褐						淡灰色を帯びる粘性土で、コアは指圧で容易につぶれる硬さ。 礫分を10～15%含有し、L=20cm程度の玉石をまばらに混入。 玉石の一部は風化により強度低下し、ナイフで削る事ができる。 基質中には火山灰を混入しており、粘性中～大、含水中。			10/19			W/DB					
18														10/21								
19																						
20														10/22								
21																						
22														10/23								
23																						
24	625.91	24.80												10/24				0	150	0	清水/3	3
25				強風化石英閃緑岩	淡褐	E	VII	d	ε	4	風化により土砂化した石英閃緑岩。 原岩組織は残存するが、硬質粘土状を呈し、指圧で容易につぶせる。	D										
26	624.11	26.60												10/25								
27						D	VI		δ		概ねマサ化した石英閃緑岩。 コアは硬質粘土状～軟質棒状を呈す。 亀裂は判別不能～密着している。			10/28								
28	622.21	28.50																				
29							III	c	γ	3	風化により岩芯まで淡褐色を呈す石英閃緑岩。 コアは土砂化部と軟質棒状部が混在。 亀裂は密着し、白色細粒物質を挟んでいる。			10/29								
30																						
31	619.71	31.00																				
32	618.71	32.00		風化石英閃緑岩	淡褐	C	III	c	γ	2	石英閃緑岩の風化部。 コア肌粗く、表面をナイフで削る事が出来る。 亀裂は無秩序で、概ね密着し、白色細粒物質を挟む。	CL		10/30								
33																						

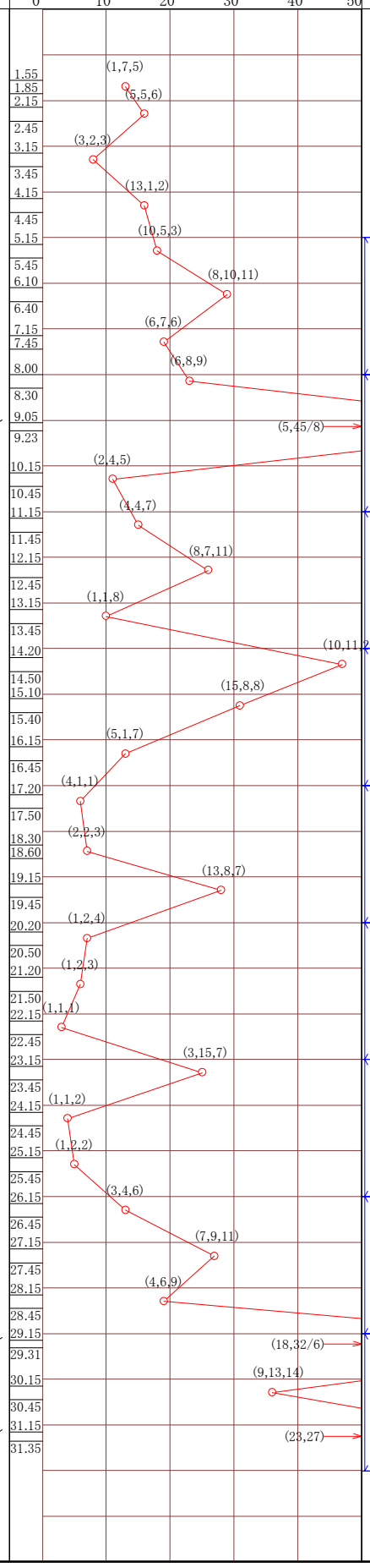
コア採取率（%）　最大コア長 cm　RQD［%］



（ルジオン　標準貫入　）試験

（Ｎ）値

（Ｐ～ＱＮ値～深度）図
[]：ルジオン値
()：換算ルジオン値
《》：限界圧力



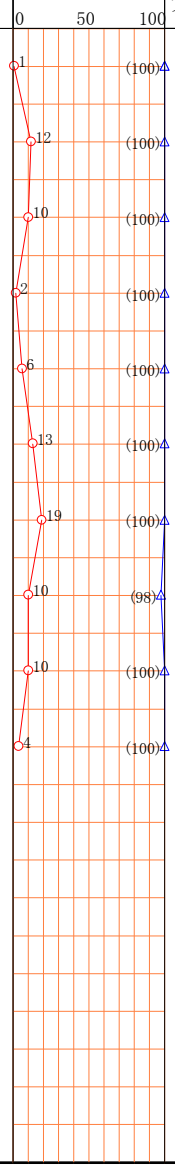
簡易揚水試験

ボーリング柱状図

調査名	最終処分場地質調査業務委託
事業・工事名	
ボーリングNo	
シートNo	

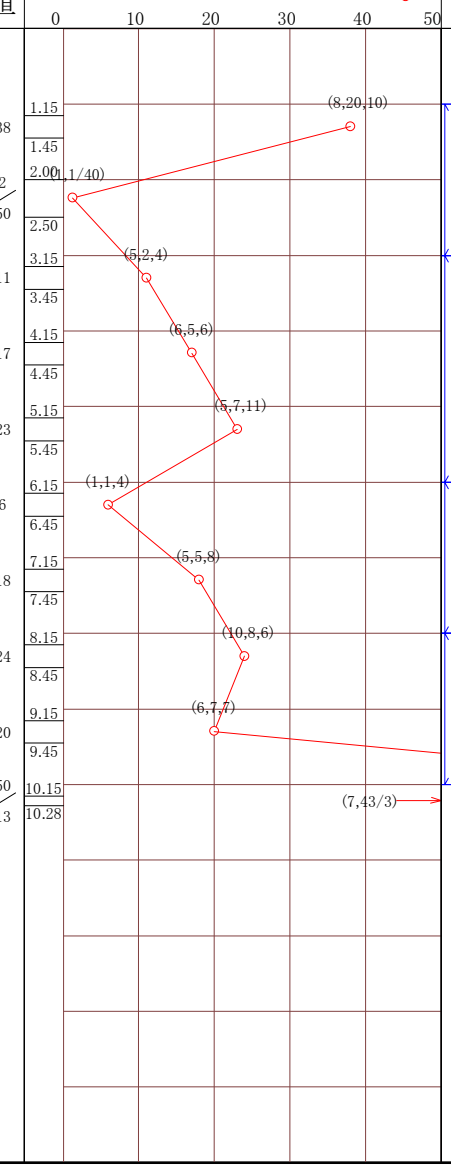
ボーリング名	NO.16	調査位置	須坂市大字亀倉栗毛・左方他			北緯	36° 36' 12.3"
発注機関	長野広域連合			調査期間	平成 25年 10月 25日 ～ 25年 11月 6日	東経	138° 20' 36.6"
調査業者名	日本綜合建設株式会社 電話(026-226-0381)	主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	623.56m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 0°	使用機種	試錐機	D-0
総掘進長	10.00m								エンジン	NFAD-10	ポンプ	EAP-150

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事
	623.21	0.35		砕石							路盤砕石
1	622.56	1.00		礫混じり粘性土	暗褐						φ=0.5～2cmの礫を含んだ砂質シルト。粘性中、含水大。
2 3	620.56	3.00		玉石混り砂礫	褐						L=10～15cmの玉石を含んだ礫質土。基質はシルト質砂で、やや粘性を帯びる。
4 5	618.06	5.50		シルト質砂礫	褐						礫分を50～70%含有する砂礫層。基質部分はシルト質砂。粘性小、含水中。
6 7 8	615.56	8.00		玉石混り砂礫	褐～灰						L=10～20cmの玉石を含んだ礫質土。基質部分は深度7.5mまでは褐色のシルト質砂、7.5～8mは灰色を帯び細砂主体。
9 10	613.56	10.00		砂礫	灰						上部層から続く砂礫層で、玉石の未混入部。
11 12 13 14											



岩級区分

孔内水位(m)／測定月日: 10/30 0.00; 11/1 1.67; 11/2 2.03



原位置試験(　)	室内試験(　)	掘進状況 掘進月日	掘進速度(cm/時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l/分)	排水量(l/分)
		10/28				0.1	280	0.15	清水／2	2
簡易揚水試験		10/29		86／ケーシング	W／DB	0.5	280	0.15	清水／2	2
簡易揚水試験		10/30								
簡易揚水試験		10/31								
簡易揚水試験		11/1								
		11/2								

ボーリング柱状図

調査名	最終処分場地質調査業務委託
事業・工事名	
ボーリングNo	
シートNo	

ボーリング名	NO.17	調査位置	須坂市大字亀倉栗毛・左方他			北緯	36°36'13.4"
発注機関	長野広域連合			調査期間	平成25年9月17日 ～ 25年9月24日	東経	138°20'42.6"
調査業者名	日本綜合建設株式会社 電話(026-226-0381)	主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	657.90m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	
総掘進長	15.00m								

試錐機	YSO-1		
エンジン	NFAD-10	ポンプ	V-6

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事
	657.30	0.60		礫混じり砂質シルト	暗褐						表層の腐植物を多量に混入した粘性土。 φ=0.5～1cm程度の細礫を含んでいる。 基質部分は砂質シルトで若干粘性を示す。
1～5	652.50	5.40		シルト質砂礫	褐						若干の玉石を含んだ礫質土。 礫径は1～10cm、礫形は亜角礫～角礫。 礫種は石英閃緑岩、花崗斑岩、珪長岩。 礫間の基質部はシルト質砂で、粘性中。 含水小。
6	650.90	7.00		玉石混り砂礫	褐						10cm程度の玉石を含んだ礫質土。 礫分の含有率は60～70%。
7～8	649.50	8.40		シルト質砂礫	褐						上部層に比べて礫分含有率が低下する区間。 基質の密集部は軟質で、指圧で容易につぶれる硬さ。
9～12	645.90	12.00		玉石混り砂礫	褐						10cm程度の玉石を含んだ礫質土。 礫分の含有率は約70% GL-8.8m、9.6m付近では削孔時に激しく逸水する。
13～15	642.90	15.00		シルト質砂礫	褐						玉石を若干含んだ礫質土。 礫分含有率は約70%。 礫径は1～10cm、礫形は亜角礫～角礫。 礫種は石英閃緑岩、花崗斑岩、珪長岩。 礫間の基質部はシルト質砂で、粘性中。 含水小。 削孔完了時の孔内水位は孔底付近。

コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]

岩級区分

孔内水位(m)／測定月日: 9/19 3.00 / 9/20 6.57 / 9/21 9.57 / 9/24 14.60

(ルジオン 標準貫入)試験 (N)値

(P～QN値～深度)図
[]：ルジオン値
()：換算ルジオン値
《》：限界圧力

深度	N値	(P～QN値)
1.15	9	(3,3,3)
1.45		
2.30	7	(3,3,1)
2.60		
3.15	8	(1,1,6)
3.45		
4.15	23	(8,8,7)
4.45		
5.15	50/27	(8,7,35/7)
5.42		
6.00	50/5	(50/5)
6.05		
7.10	50/4	(50/4)
7.14		
8.15	4	(1,1,2)
8.45		
9.15	50/17	(2,48/7)
9.32		
10.00	50/6	(50/6)
10.06		
11.15	50/4	(50/4)
11.19		
12.15	16	(4,5,7)
12.45		
13.15	50/14	(7,43/4)
13.29		
14.15	50/5	(50/5)
14.20		
15.00	50/10	(50)
15.10		

原位置試験(　)

室内試験(　)

掘進状況

掘進日	掘進速度(cm/時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(1/分)	排水量(1/分)
9/18		86／ケーシング	W/DB	0.5	280	0.2	清水／2	2
9/19				0.5	280	0.2	清水／2	0
9/20				1	280	0.2	清水／2	0
9/21								

ボーリング柱状図

調　査　名　最終処分場地質調査業務委託

ボーリングNo

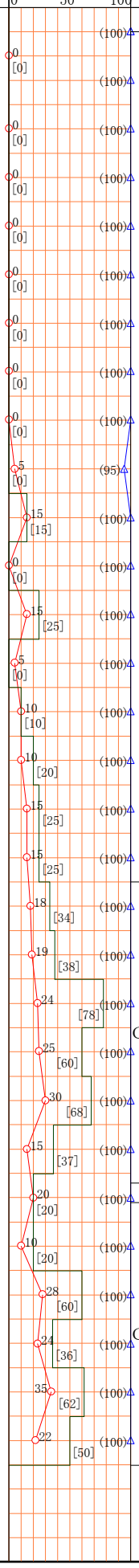
事業・工事名

シートNo

ボーリング名	NO.18	調査位置	須坂市大字亀倉栗毛・左方他			北緯	36°36'5.6"
発注機関	長野広域連合			調査期間	平成25年10月8日 ～ 25年10月24日	東経	138°20'47.9"
調査業者名	日本綜合建設株式会社 電話(026-226-0381)	主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	728.70m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 40°	使用機種	
総掘進長	30.00m							試錐機	YSO-1
								エンジン	NFAD-10	ポンプ	V-6

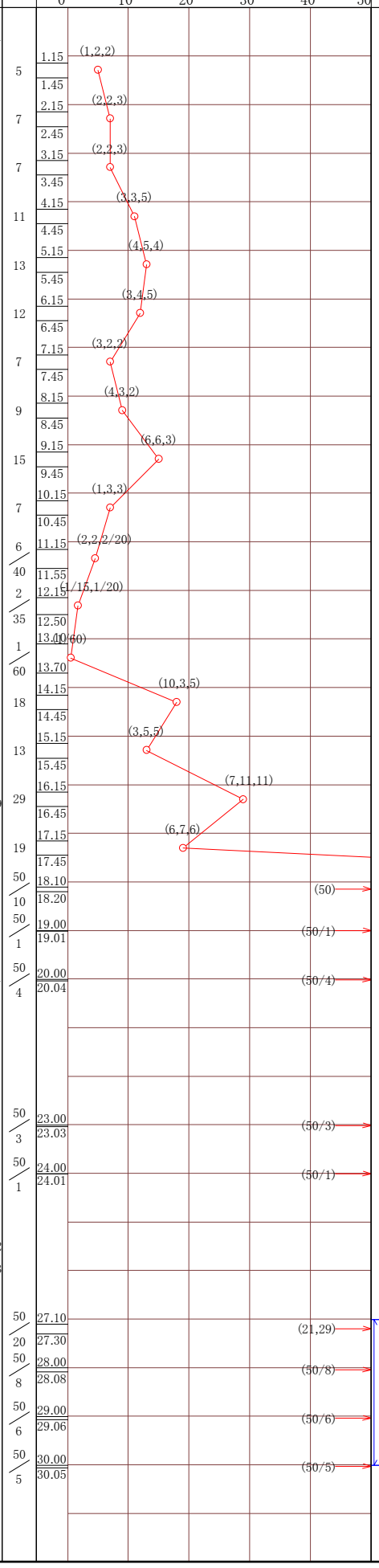
標尺(m)	標高(m)	深度(m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日
	728.20	0.50		細礫混り粘性土	暗褐						腐植物を含んだ表土。		10/11 1.13
1～5	723.70	5.00		強風化石英閃緑岩	明褐	E	VII	d	ε	4	土砂化した石英閃緑岩。 原岩組織は残存するが、コアは硬質粘土状を呈し、容易に押しつぶせる硬さ。 削孔時の孔壁押出しは無い。	D	
6～18	710.70	18.00			明褐～灰褐	D	VI		δ	3	マサ化した石英閃緑岩。 コアは軟質棒状を呈し、割れ目は密着している。 コアの硬さはナイフで容易に削れる程度。 削孔水は掘削とともに低下する。		10/19 16.92
19～24	704.50	24.20			灰褐	C	III	c	γ	2	風化により岩芯まで灰褐色を呈する石英閃緑岩。 水平～斜め方向の亀裂があり、亀裂面は密着する事が多い。 コアの硬さは表面をナイフで削れる程度。 深度23.2～23.7mは弱風化部が残存。 削孔水は掘削とともに低下する。	CL	10/21 20.50
	704.10	24.60			褐	E	VI	d	δ	3	石英閃緑岩のマサ化部。	D	
25～30	698.70	30.00			灰褐	C	III	c	γ	2	風化により岩芯まで灰褐色を呈する石英閃緑岩。 水平～斜め方向の亀裂があり、深度27m以深の亀裂は粘土薄層を狭在する。 コアの硬さは表面をナイフで削れる程度。	CL	10/22 26.04 10/23 26.50

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]



(ルジオン 標準貫入)試験

(P～QN値～深度)図
[]：ルジオン値
()：換算ルジオン値
《》：限界圧力



掘進状況 掘進月日	掘進速度(cm/時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(1/分)	排水量(1/分)
10/10								
10/11				0.5	280	0.2	清水／2	2
10/12								
10/15								
10/17		86／ケーシング	W／DB	0.5	280	0.2	清水／3	0
10/18								
10/19				0.5	280	0.2	清水／5	0
10/21								
10/22								

原位置試験(　)

簡易揚水試験

室内試験(　)